

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本農芸化学会関東支部2018年度大会
演題名	オレフィンのイメージング質量分析：Ag+アダクトによる検出感度の向上
発表者	○赤羽 宏之 ¹ ※、小宮 桂太郎 ¹ ※、権田 貴大 ¹ ※、渡部 春香 ¹ ※、 <u>山根 久和</u> ^{1,2} 、 <u>榎元 廣文</u> ^{1,2} 1帝京大・理工・バイオ、2帝京大・先端機器分析センター (○；発表者、※；本学の卒研生、__；本学科教員) 【食品分析学研究室】
内容	本研究では、マトリックス支援レーザー脱離イオン化-イメージング質量分析における、オレフィン化合物の検出感度に及ぼすAg+アダクト形成の影響を、植物組織の主なオレフィン化合物の一種であるオレイン酸、リノール酸、リノレン酸、およびその関連代謝産物である12-オキソ-フィトジエン酸の標準品を用いて調べた。その結果、Ag+アダクトを形成させることで、オレイン酸、リノール酸、リノレン酸、および12-オキソ-フィトジエン酸のポジティブモードにおける検出感度が向上することが示唆された。
関連画像	